

インバウンド グリーン・ツーリズムの取組事例 [農業法人(株)秋津野(和歌山県田辺市)]

- 平成19年、都市農村交流を促進するため、地元の廃校舎(小学校)を改修した交流施設(研修室、加工室)、農家レストラン、宿泊施設を都市農村交流施設「秋津野ガルテン」として整備し、その施設運営を行う組織として地域住民の出資による「農業法人(株)秋津野」を設立。また、近隣農家14戸と協力し農家民泊も推進。
- 世界遺産「熊野古道エリア」への観光を機に、外国人観光客を農家民泊で受入れ農業体験等の取組みを実施。平成24年にはイギリス、アメリカ、25年はオーストラリア、26年は韓国などからの受入れを実施。本年(27年)になってからは、特に、ヨーロッパからの個人客が増加。

地域の特徴

和歌山県田辺市 上秋津地区



○ 田辺市上秋津地区は、紀伊半島の南西部、和歌山県の南部に位置しており、古くから農業地域として形成、柑橘や梅(南高梅)など果樹栽培が盛んな地域。

地域の概要

- 人口: 3,286人
- 世帯数: 1,213世帯
- 平均気温: 16.5℃
- 降水量: 1,650mm
- 阪神高速南紀ICまで7分
- 白浜温泉、白浜空港まで20分

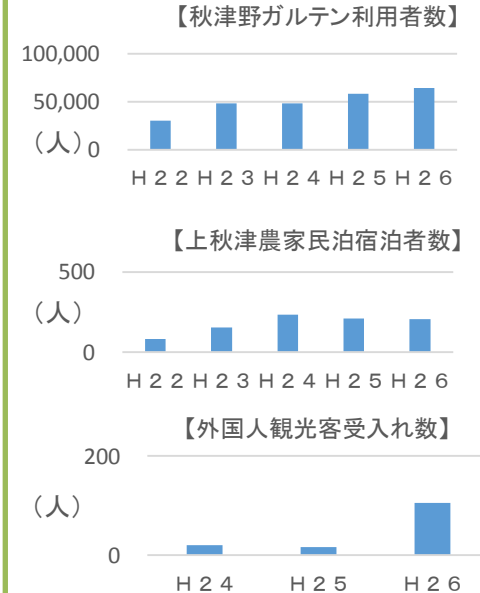
地域資源

- 観光資源
 - ・千光寺、熊野本宮、高尾山、熊野古道、龍神温泉、
- 農業生産
 - ・柑橘と梅の複合経営
 - ・柑橘の多品目の周年収穫体型(約80種類)

活動の概要

- 訪日外国人の受入取組を推進していく上で、旅行会社との連携が重要であり、「奥ジャパン株式会社」(熊野古道を歩くツアーを企画しているイギリスで設立された日本行き専門旅行会社)と連携し、ヨーロッパからの個人客や団体客を対象に継続的な受入れを行っている。
- また、地域と来訪者をつなぐ地域密着型の旅行会社「(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー」(日英2カ国語オンライン予約システムを立ち上げ世界各国からの予約を受付)とも連携し、オーストラリアからの修学旅行生を受入れている。
- 言語については、タブレット翻訳アプリを使用し対応している。

活動の効果



廃校舎を活用した交流施設
(秋津野ガルテン)



外国人修学旅行生
農作業(みかん収穫)体験



外国人修学旅行生
地元農家による講演



外国人修学旅行生
地元柑橘を使ったお菓子
作り体験